

広高等学校 第3学年 国語科（現代文B）単元指導計画

- 1 小説「鞆」
- 2 単元の目標 文章に描かれた人物の心情変化を意識して、創作意図を読み取ることができる。
- 3 単元の計画（全5時間）

時	主な学習活動
1	・教材を通読し、初読時の意見を他者と共有する。
2	・主人公の置かれた状況と発言内容を手がかりに、それぞれの会話部の発言意図を確認する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の「自由」にそれぞれ注意して読む。 ・主人公の述べる「自由」について、2種類あることに気づき、それぞれの「自由」を定義・対比を意識して、類別する。 ・読み取った内容を整理し記述する。
4	・本文中の2種類の「自由」が、歌の歌詞にも見られることに結び付け、社会にある2種類の「自由」とはどのようなものかをグループでディスカッションし、整理する。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ発表の内容を相互批評し、その結果をもとに他者と協働して、表現や内容の練り直しを行う。 ・自身の「自由」に対する考えをまとめる。

- 4 本時の目標
文章から得た情報を他の事象とつなげて思考し、その結果を対象となる他者に応じた表現で伝えることができる。
- 5 学習の流れ（4時間目／全5時間）

パフォーマンス課題

あなたは友人と、小説「鞆」を読みながら、繰り返し用いられている「自由」のうち、最後の「嫌になるほど自由」と書かれていることに、大きな疑問を感じました。なぜなら、「自由」は「嫌になる」ようなものではないからです。そこで、「嫌になるほど自由」にある「自由」とは、どのような「自由」かを解明してみたいと考えました。しかし、小説には詳しい解説がないため、いつもよく聴いている音楽に出てきたり、これまで授業で学んだりした「自由」ということばをヒントに考えることにしました。「自由」について、あまり深く考えたことのない人に向かって、あなたたちのグループで「自由」を定義・比較し、分類して説明して、納得を得てください。

	学習活動	指導上の留意点	評価規準	〔観点〕 評価方法	コンピテンシー
導入 5分	事前課題及び本時の学習 内容を確認する。	【CK】小説「鞆」・評論「時間と自由の関係 について」・3つの歌詞をもとに、「自由」 とはいったい何か、自分の考えをまとめるこ とを確認させる。 事前にグループを指定し、グループで「取扱 説明書」を作成する科学の分野を決めさせて おく。 ディスカッションにより決めさせておく。			【CS】 ① ディス カッション ⑦ ロジカ ルシンキン グ ⑧ ライテ ィング
展開① 15分	複数資料にあることばの 意味を整理する。	小説「鞆」・評論「時間と自由の関係につい て」・3つの歌の歌詞に出てくる「自由」の 意味を、それぞれ個人内思考で整理させる。			【CA】 ⑪ 適応力 ⑮ 積極性
展開② 15分	個人で思考したことをグ ループで共有し、ことばの 定義と類別を行う。	各自の思考内容を付箋紙に書き出し、「自由」 の定義と類別について、4名1組でグルー プで、次のように検討させる。 ①本文に沿って思考させる。 ②付箋に思いつく限り書き出させる。 Ⅲ書いたもの付箋を口頭発表しながら台紙 に貼りつけさせる。貼りつけた付箋について 、同様のものをグルーピングさせ、ディスカ ッションさせる。 ④付箋紙法により複数者間の思考を整理さ せ、共通項をキーワード化させることで、合 意形成によりポイントの明確になった「自由」 の定義・分類を作成させる。			
展開③ 10分	作成したことばの定義と 類別を他者に紹介し批評 を得る。	3～4グループの作成した「自由」の定義と 類別を実物投影機を用い発表させる。 発表用パネルとして、グルーピングしディス カッションしたものを整理し、記入票に説明 文で記述させる。 説明を聴く側には、自分自身が「自由」につ いて、あまり深く考えたことのない人である ことを想定し、ことばと内容の点で適切か否 かを判断させる。特に内容については「定義」 ・「類別」の双方が取り上げられているか を確認させる。	・文章に与えられた 情報以外の事象を含 め詳細に考察してお り、記述語と内容を 対象者に適合させて いる。	〔読む能力〕 行動の観察 ワークシート	
まとめ 5分	本時の振り返りを行い、次 時の学習内容を理解する。	成果物を提出させ、次時には成果物の吟味と 評価を行うことを理解させる。 コンピテンシー評価表で自己評価させる。			

広高等学校 第3学年 国語科（古典B）単元指導計画

- 1 単元名 古文の世界の人々について、人物像を考えよう
- 2 単元の目標 根拠を明らかにして意見を述べることができる。
- 3 単元の計画（全13時間…シラバスに従って、間に漢文教材を挟みながら全体で13時間で行う。）

時	主な学習活動
1 ～ 4	『枕草子』『二月つごもりごろに』 ・筆者の機知や表現の特徴を読み取る。 ・随筆文学の概要や、当時の宮廷生活について理解する。 ・筆者の人間観察、鋭い批評性を読み取る。 ・本文や和歌について、適切な現代語訳をする。
5 ～ 8	『源氏物語』『紫の上の死』 ・登場人物それぞれの心情を読み取る。 ・本文や和歌について、適切な現代語訳をする。
9 ～ 12	『蜻蛉日記』『うつろひたる菊』 ・筆者の夫に対する思いを読み取る。 ・女流日記文学の特質を理解する。 ・本文や和歌について、適切な現代語訳をする。
13 本時	『枕草子』『二月つごもりごろに』、『源氏物語』『紫の上の死』、『蜻蛉日記』『うつろひたる菊』に登場する人物について、その人物の性格をよく表す古語を単語帳から2～3個選んで一文を作り、その古語を選んだ理由について根拠を挙げて説明する。

- 4 本時の目標
根拠を明らかにして意見を述べることができる。

5 学習の流れ（13時間目／全13時間）

パフォーマンス課題

これまでに学んできた古文に登場する人物の中から一人選び、その人物の性格をよく表す古語を単語帳から2～3個選んで一文を作り、その古語を選んだ理由について根拠を挙げて分かりやすく説明しましょう。 また、その説明が、正しい内容理解に基づき、的確な根拠を挙げて書かれているかどうかを判断し、グループの中で最も良い作品を選びましょう。

	学習活動	指導上の留意点	評価規準	〔観点〕 評価方法	コンピテンシー
導入 7分	本時の学習内容と、意図を確認する。	「書く」ことだけでなく、その後の相互評価をすることが重要であることを確認する。		行動観察	【CS】 ① ディスカッション

展開① 13分	自分が選んだ人物について記述する。	選んだ古語について根拠を挙げて説明させる。教科書・ノートを確認し、適切な根拠を挙げるよう指導する。人物を多角的に見るよう促す。	【CK】それぞれの作品で描かれた人物像と古語の意味を根拠を明らかにして結びつけることができる。	行動観察 ワークシート	⑤ リサーチスキル ⑧ ライティング 【CA】 ⑩ 柔軟性 ⑮ 積極性
展開② 13分	記述についてグループで検討し、良いものを選ぶ。	4名1組でグループで発表し、評価表に従って評価したうえで検討させる。評価表を根拠に発言、検討するように促す。選ばれたものをボードに書かせる。	【CK】根拠を明らかにして意見を述べることができる。	行動観察 ワークシート	
まとめ 17分	選んだ作品を発表する。	代表者に、ボードを示しながら、人物像の説明と、選ばれた理由の説明とをさせる。人物像についてだけでなく、選んだ作品が採点基準にどのように合致しているかを述べさせる。	【CK】根拠を明らかにして意見を述べることができる。	行動の観察 ワークシート	